



奥 陽治
（40分）
公明党

浸水対策の進捗状況は

問 福川の排水機場整備は。

答 現在、県が瀬戸川への吐き出し口や排水機場内の水槽の工事を行っている。来年度からはポンプの製作に着手する予定と聞いており、完成後には排水能力が約3倍に増強される。
引き続き抜本的な浸水対策を計



山谷 久美子
（40分）
公明党

(仮称)子ども未来館は

問 第1回検討委員会、市民懇話会での意見は。

答 検討委員会では意義やコンセプトについての意見のほか、巨大な施設や大型設備の設置はメンテナンスや更新に課題がある等の意見があった。懇話会では地域や地元企業、大学の持つ技術を知る

画的に実施し、治水効果を高め、市民の安心・安全につなげる。

経済対策は

問 県知事との会談における事業者支援などの協議の具体は。

答 事業継続や雇用維持を支えるため、感染症拡大防止協力支援金の早期支給等への取り組みを確認し、研究開発投資の促進等についても意見を交わした。
今後地域経済の早期回復とさらなる発展に向け、県と連携し事業者支援に取り組む。

ことができる等の期待があった。

(仮称)まちづくり支援拠点施設は

問 複合施設整備に踏み切ったいきさつは。

答 市民参画センターは約50年、老人大学は60年以上経過し、いずれも施設の更新が課題であった。高齢化などによりこれまでの役員中心の地域づくりは大きな転換期を迎えており、施設の集約、複合化を図りながら新たなまちづくりの拠点整備を検討してきた。



小林 聡勇
（40分）
公明党

中小事業者への支援は

問 ①これまでに支援した飲食店、観光関連・繊維関連事業者以外で、売上げが下がっている事業者に対する直接支援の考えは。

答 ②事業者への周知は。また、相談窓口は。

①新たに「中小事業者売上



塚本 裕二
（45分）
公明党

大雨による避難体制は

問 ①自主防災組織の現状は。②学校の防災教育の取り組みは。

答 ①役員の高齢化等で活動の維持が難しいとの課題があるため福山防災大学の防災士養成講座で役員への資格取得の支援や防災リーダーと連携した出前講座の開催などによる人材育成に努めている。

回復応援金」を創設し、5月から9月までの緊急事態措置などの影響を受け、売上げが大きく減少した卸・小売・サービス業を中心とした幅広い事業者を対象に最大100万円を市が独自に支援する。

②広報紙、ホームページなどに加え、福山市産業支援者連絡会議や各事業組合・団体、金融機関に協力を求め、支援制度の周知に取り組んでいる。

また、事業者からの相談は、フクビズをはじめ商工会議所、商工会などと連携し対応に努める。

②自然災害の現状や原因を理解し地域のハザードマップなどを活用して具体的な災害を想定しながら災害時に的確な判断と適切な行動ができるよう取り組んでいる。

福山城築城400年記念事業は

問 福山城博物館のリニューアルは。

答 福山城の歴史を中心に、水野勝成公の築城とまちづくりや阿部正弘公の内政や外交の功績などについて、デジタル技術も活用し分かりやすく迫力ある展示をする。